

黒潮

和歌山県看護協会 会報

平成29年8月発行

第140号

発行所

公益社団法人 和歌山県看護協会

〒642-0017

海南市南赤坂1-7

TEL:073-483-1005

FAX:073-483-1266

<http://www.wakayama-kangokyokai.or.jp>

発行人

古川 紀子



イラスト／石井涼様 提供

CONTENTS

- 地域包括ケアに向け看護の役割発揮を … 2
- 平成 29 年度 新理事あいさつ …… 2
- 日本看護協会会長表彰を受賞して …… 3
- 和歌山県看護協会会長表彰 …… 3
- 保健師のコーナー …… 4
- 助産師のコーナー …… 4
- 看護師のコーナー …… 4- 5
- 地域連携のコーナー …… 5
- フレッシュナース …… 5
- 専門・認定看護師のコーナー
（トピックス 2017） …… 6- 7
- 医療安全数珠つなぎ …… 8
- 訪問看護ステーションだより …… 8
- リレーエッセイ 友達の輪 …… 8
- 男の豪快料理 …… 8
- 施設だより …… 9
- 和歌山県看護協会の動き …… 9
- ナースデイフェスタ和歌山 …… 10
- 新人看護職員オリエンテーションを開催 … 10
- 「世界禁煙デーフォーラム in 和歌山」に参加して … 11
- 「皆さん、禁煙しませんか！」 …… 11
- プレゼント …… 11
- 平成 29 年度役員・各委員及び地区支部長名簿 … 12

和歌山県看護協会 会員数

平成 29 年 7 月 25 日現在

会員総数	5,209 名
名誉会員	1 名
保健師	123 名
助産師	191 名
看護師	4,723 名
准看護師	171 名

※会員システムの変更上、
7 月中の会費納入者数となっております

地域包括ケアに向け看護の役割発揮を

公益社団法人 和歌山県看護協会 会長 古川 紀子



会員の皆様におかれましては、平素から、和歌山県看護協会の事業推進にご支援ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

平成29年度通常総会が6月10日に行われ、多数のご参加を頂き無事終了いたしました。また、12名の方が和歌山県看護協会会長表彰を受賞されました。おめでとうございます。

和歌山県看護協会は、公益社団法人として6年目を迎え「県民の健康な生活の実現」に向け今後も活動してまいります。

県民の皆様が、地域でいきいきと安心して生活できる環境づくりが求められており、看護職の役割が拡大し、一層重要となってまいります。「病院完結型」から「地域完結型」へと移行する中、これまで以上に身近で頼りになる存在として、質が高く、満足できる看護を「いつでも・どこでも」提供できることが求められています。

今後も、看護の質向上、看護職が生涯を通して安心して働き続けられる環境づくり、人々のニーズに応える看護領域の開発・展開を使命として活

動してまいります。

「看護実践能力及び専門性の強化」につきましては、昨年の事業に加え、訪問看護入門研修、中堅期保健師コンサルテーション研修を実施するなど、看護力が十分発揮できるように推進してまいります。

次に、「看護職が働き続けられる環境づくり」につきましては、一昨年10月から医療機関等を退職する看護職員のナースセンターへの届出が努力義務化されました。

ナースセンターを看護職確保・定着の総合拠点としての機能強化を積極的に図ってまいります。

「会員情報管理体制」ナースシップが稼働しました。会員拡大に向け皆様のお力添えを頂きながら取り組んでまいります。

更に、会員の皆様にご意見を頂き、看護職能団体としての役割を果たしてまいります。

これからも皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成29年度 新理事あいさつ



副会長2期目となります。会長を補佐し県看護協会の更なる発展に尽力いたします

副会長 東 直子



和歌山県看護協会の目的達成のため、全力で取り組んでいきます

専務理事 小泉 美穂



県看護協会の目的達成のため、役割を果たしてまいります

書記長 山本 美代



多様化する健康課題に対応するため、保健師の資質向上に委員と共に取り組んでまいります

保健師職能委員長 小川 政予



助産師の力を結集し魅力ある職能活動となるように頑張ります

助産師職能委員長 慈幸 奈美



病院で働く看護職に関連する情報を、お伝えしていきたいと思っております

看護師職能委員長Ⅰ 稲垣伊津穂



委員の皆様と共に、看護協会の発展・組織力強化に尽力いたします

看護師職能委員長Ⅱ 東 るみ子



地区支部の皆様との協力のもと役割が果たせるよう努めます

和歌山地区支部長 廣瀬 朱実



地域に貢献できるように会員の皆様とともに連携を強化し活動します

海南・海草地区支部長 中野 美枝



地区支部の皆様との協力のもと、精一杯頑張ります

新宮・串本地区支部長 貴志 福子

日本看護協会長表彰を受賞して

澤越 純子



この度、栄えある日本看護協会長表彰を賜りましたことは身にあまる光栄と共に喜びと感謝の気持ちで一杯です。受賞のお知らせを聞いたときには、「私でいいのでしょうか？」との思いもあり信じられない気持ちでした。ご推挙下さいました関係者の皆様に深く感謝申

し上げます。夢を抱いて看護の道に進み邁進してきた思いです。患者・家族様に寄り添い多くのことを学ばせていただき、病院勤務も訪問看護での在宅医療の経験も全て人生の宝であり私の誇りでもあります。超高齢化社会で看護の果たす役割はますます重要になって来ています。若い看護職の皆様が存分に力を発揮し誇りを持って仕事ができるよう、今後も協会活動を通じ微力ではありますが応援していきたいと思っています。

和歌山県看護協会長表彰

表彰された皆さんの声を聞いてみました！

- ① 抱負・モットー ② 後輩に伝えたい一言



- ① “思いやり”と“Smile”
② 楽しいと思えることがきっとあるはずです！！
和歌山県立医科大学附属病院 西口 知子

- ① 「仕事は楽しく、美しく」職人のような看護師が理想です
② 煮ついたら部屋の掃除をしてみましょう。頭の中もすっきりします
和歌山県立医科大学附属病院 山本 俥代

- ① 相手を尊重し、笑顔で接すること
② その人の命と健康・尊厳を守る努力をする
日本赤十字社 和歌山医療センター 北山加津子

- ① ちょっと立ち止まって、足元を見る
② うまくリフレッシュして、自分を健康に！
済生会有田病院 新界 紀子

- ① 仕事は楽しくやる！ 常に前向き！！
② 何事も、頑張ればすべて自分に返ってきます
公立那賀病院 角 さとみ

- ① 明るく元気で前向きな気持ちを忘れないこと
② 誠実で信頼される人になってください
国保日高総合病院 古田 陽子

- ① 感謝の気持ちを忘れず、いつも笑顔で
② 心に寄り添える豊かな感性を磨いて下さい
紀南病院 松下 順子

- ① 心も身体も元気であること
② やわらかい態度で寄り添う看護師であってほしい
医療法人南労会 紀和病院 池田亜矢子

- ① 誠実な態度
② 安心・安全・安楽
和歌山赤十字看護専門学校 素川 美雪

- ① やれることは精一杯やってみる
② 時間は大切！今やりたいことはチャレンジ！
和歌山県立なぎ看護学校 松本 長代

- ① 継続は、力なり
② 笑顔で挨拶、コミュニケーションを大切に
日高看護専門学校 座間 晶子

- ① しあわせはいつも自分の心が決める
② 出会う人を笑顔に
那智勝浦町役場 喜田 弘美

保健師のコーナー

保健師職能委員長

小川 政予



私は保健師になって今年で38年目になります。この度、何か後輩に伝えられることがあればと思い保健師職能委員長を引き受けさせていただきました。

私が就職した昭和55年当時は駐在制といって県の保健師が毎日市町村に出勤し、市町村の保健師と同じ仕事をしていました。この駐在制は全国的にめずらしく高知県、沖縄県と本県だけがこの形態をとっていました。その頃の保健師活動は家庭訪問が中心でしたが、駐在地区には車はなく単車（スーパーカブ）で地域を回る日々でした。雨が降ると訪問ができず、天気にも左右される活動でした。その頃のこと、今でもはっきり覚えていることがあります。それは、これから駐在する町の保健師室（この町では保健師専用の室があった）で引き継ぎを受けた日のことです。先輩保健師が訪問し、書かれた家族単位の記録票（家庭票と呼んで

いた）の数の多さに驚きました。その内容はかなり古くから今に至るまでの家族の状況が詳しく書かれていました。すごいなと思う反面、その家族を支えていけるか不安になったものでした。

私達保健師にとって何が大切なのかを考えた時、今一度、原点に立ち返り、意識的に地域に出向き、地域の人々の声を聞くことではないかと思うのです。1件、1件訪問し話をします。地域をくまなく回することで地域の状況がみえてくる。先方が何を望んでいるかを一緒に考え、望んでいることが少しでも叶えられるよう、他の職種の方々と一緒に考える。そんな気持ちで仕事ができたら仕事楽しくなる気がします。先輩保健師から引き継いだものを少しでも後輩保健師に引き継いでいけるよう頑張りますので、皆様のご協力をお願いします。

助産師のコーナー

助産師職能委員長

慈幸 奈美



今年度より助産師職能委員長をさせていただきます。初めての経験のため不安もありますが皆様のご協力と御指導をいただきながら精一杯頑張りますので、よろしく願い申し上げます。

助産師は、周産期医療をめぐる環境に対応しながら、すべての妊産婦と新生児にケアを提供し、妊産婦と新生児及びその家族の健康的な生活の実現に向けて、自己の実践能力を高め、自律的に行動し関係者と協働することが重要です。

平成27年度から始まった助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）（以下CLOCMiP）レベルⅢ認定制度により自立して助産業務ができる能力のあるアドバンス助産師が和歌山県に125名が誕生しました。助産師による安全・安心な出産環境提供体制を推進するためにCLOCMiPレベルⅢ認定制度を積極的に活用

し助産実践能力強化に努めてまいります。また妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援として虐待予防や産後ケア等の対応強化に必要な助産実践能力としてのウィメンズヘルスケア能力の周知に努めてまいります。

今年度は助産師職能集会において「CLOCMiPを活用した人材育成」、三職能合同研修会において「看護職としての災害支援」、助産師研修会において「CTGに関する研修」「倫理に関連した研修」「産後ケア」を企画しています。また今年度初めて「産科管理者交流会」を開催いたします。今後も皆様のご協力と、多くの皆様の参加をお待ちしています。

看護師のコーナー

看護師職能委員長Ⅰ

稲垣 伊津穂



看護師職能委員会Ⅰに初めて参加させて頂くことになりました。活動目標としては、①看護師長への支援・教育に関する取り組みの広がりに向けた情報提供・課題発見 ②多職種協働時代における病院の看護職と他職種の連携や協働のあり方に関する情報収集・課題発見 ③病院における看護職に関連した本会事業のトピックスに対するタイムリーな課題発見・意見集約となっております。

今年度の職能委員会Ⅰでは、①については、管理職研修として来年1月27日（土）に「平成30年度改定する診療報酬・介護報酬のポイント」を開催する予定です。6年に一度の同時改定で政策がどう反映されるのか興味のある所だと思えます。②については、看護師職能ⅠⅡ合同研修として、9月2日（土）に「アンガーマネジメント」について、井上泰世先生から“怒りの感情コントロー

ルについて学ぶ”機会にしたいと思っております。③については、准看護師研修にて皮膚・排泄ケア認定看護師より「ポジショニング」研修、昨年に引き続き、男性看護師交流会も予定しております。

看護師職能委員会Ⅰでは、病院で働く看護職に関する事業を進めていきたいと思っております。そのためには職能委員会の機能である意見集約・課題発見は重要な役割を担っていると感じております。委員会メンバーで連携し、現場の声をタイムリーに集め、病院で働く看護職に興味関心を持ってもらえるような研修計画を立案してまいります。

看護師のコーナー

看護師職能委員長Ⅱ

東 るみ子



看護師職能委員会Ⅱの活動に参加させて頂き4年目になります。私事、病院、訪問看護の経験を経て、現在は介護老人保健施設に勤務しています。医療、介護それぞれの立場で働く看護職の連携の大切さを痛感しているところです。

委員会では、「介護・福祉施設・在宅で従事する看護職、介護職の連携強化、質の向上」を目的に、委員の方々と活発な意見交

換を行い、楽しく活動に参加させて頂いております。

これから向かえる超高齢社会、2025年問題、50万人の死に場所の確保など、数々の問題を抱える医療・介護情勢の中、その問題を解決すべく地域医療構想、地域包括ケアシステム構築が喫緊の課題となっています。医療・介護連携

体制の強化における看護師の役割は大きく、中でも在宅医療の現場で働く看護職の活躍が期待されているところです。

先日、幕張で開催された日本看護協会の通常総会においても、看護師職能委員会Ⅱでは、在宅医療を担う看護師の人材確保や看護管理者の資質の向上に向けた事業計画が出されていました。委

員会としても、地域で働く看護職の声をより多く、日本看護協会に届けるために、活発に活動されている和歌山県訪問看護連絡協議会と連携を取りながら、組織力の強化に努めていきたいと思いを。会員の皆様のご協力を頂きながら頑張りたいと思いを。で、よろしくお願いをいたします。

地域連携のコーナー

「患者支援室」の活動

くしもと町立病院 患者支援室 湯口 真帆



くしもと町立病院 患者支援室は、看護師1名、医療事務1名が担当しています。

主な業務は、前方支援（地域の医療機関からの紹介に対応）、後方支援（主に転院調整）、CT・MRI・骨密度測定の予約受付、里帰り出産問い合わせ、医療福祉相談、各種問い合わせの対応（院内外）です。CT・MRI・骨密度測定の予約については、地域のクリニックなどから依頼を受けることが多くなってきており、毎年予約件数は増えています。

患者さま相談窓口の利用としては、直接訪室される方が少なかったため、入っていただきにくいのかなど考え、患者支援室の扉をオープンにしてみたところ訪室者が増えました。（忙しくはなりましたが・・・充実しております。）

今後も、患者さまやご家族に「来てよかった。」「相談できて安心した。」と言っていただける場所でありたいと思いを。

現在、後方支援において在宅へ退院される患者さまの対応は、病棟看護師が中心となって行っていますが、今後は私たちが在宅への退院支援を充実させていかなければと考えています。「施設完結型」医療から「地域完結型」医療への転換がすすめられている中、患者さまやご家族と院内職員のつなぎ役、また地域の関係機関とのつなぎ役として、地域での切れ目のない医療・介護・福祉の提供につながる支援に努めたいと思っております。

★★★フレッシュナース★★★



医療法人スミヤ 角谷整形外科病院 看護師 寺脇 舞

看護師になってから一年が経ちました。自分自身、分からない事や知らない事が多くありますが周りの看護師の方々からご指導頂きながら患者さんと向き合っています。当院は整形外科病院であり、入院される患者さんは手術を受け、リハビリし自宅に帰っていく事がほとんどです。患者さんが回復していく姿をみるととても嬉しい気持ちになり元気を貰います。患者さん一人ひとりと向き合いその人に合った看護を考えるのは難しいですが、患者さんと一緒に退院に向けて考える時はやりがいを感じます。話を傾聴し、寄り添った看護を目指したいと思いを。



国保日高総合病院 中出 嵩仁

国家試験に合格することができ友人と喜び合ったのが、ついこの間のように感じます。病院で働き始めてもうすぐ3か月が経ちますが、日々の業務の流れを理解し始めつつも、一つ一つの業務にかかる時間が長く、中々思うように進めていけません。知識、技術、スピード、全てが未熟な私に温かくご指導して下さる病棟の先輩スタッフの皆さんや、笑顔で受け入れて下さる患者様には感謝の気持ちでいっぱいです。私を支えて下さっている多くの方々に、少しでも報いるために確かな知識、高い技術を少しでも早く身につけたいです。そして、少しでも患者様に寄り添え、必要とされる看護師となれるように日々努力し一歩ずつ確実に進んでいきたいです。



「憧れの看護師に」

名手病院 坂地 美奈

私は幼い頃から看護師の母にあこがれていました。母のように患者さんからあなたでよかったと言われるような看護師になりたい、私も母のようにいきいきと看護がしたいと強く思い学生時代を乗り越えました。今は母が働いている名手病院で私も看護師として日々がんばっています。そして、学生時代に支え合ってきた大切な友人も一緒に同じ病棟でお互いがんばり成長しています。今では目標となる憧れの先輩が私のプリセプターです。同じ病棟でこんな看護師になりたいと思える存在ができとても嬉しく、今では先輩のような看護ができるよう日々勉強に励んでいます。私もいつか先輩みたいに目標とされるような看護師になるため日々頑張っています。



認知症ケアチームのラウンド風景です。他職種で話し合い、患者さんが安心、安全に入院生活をすごせるよう活動しています。

認知症ケア シリーズ①

国立病院機構 和歌山病院

認知症看護認定看護師 堅田 弥生



季節の絵（七夕）を一緒にみて、絵の内容や七夕について話しています。思い出を話すことで笑顔が増えます。



患者さんが書いた手作りの日めくりカレンダーです。毎日日勤でめくり、日付を確認しています。患者さんが書いた文字であることを聞いていつも驚き、笑顔が増えます。



患者さんと一緒にきり絵を行いました。色や大きさなどを選んでもらい、一緒に糊付けをしています。見えるところに飾り、患者さんが作ったことを伝えています。

認知症看護認定看護師となって約1年が経過しました。この1年はとても目まぐるしく、あっという間でした。私が認知症看護認定看護師として活動している内容や今後の課題、目標について報告します。

当院は呼吸器疾患や神経内科を主としており、手術や抗がん剤治療を受ける患者さんや肺炎、肺結核などの多岐にわたる患者さんがいらっしゃいます。当院でも、高齢化に伴い、多疾患合併による認知症患者さんが増加しています。

そこで、認知症看護認定看護師として、認知症患者さんの意思を尊重できるように、患者さんの状態をアセスメントし、ケアの実践とケア体制作りを行っています。活動日には、認知症患者さんのラウンドを行い、昔の思い出などを話していただいたり、運動機能や過去の経験から、その人ができることを実践しています。

片麻痺はあるものの右手でペンを持つことのできる患者さんに対しては、数字を記載してもらい、手作りの日めくりカレンダーを作成しています。そのカレンダーを見ながら毎日声掛けを行い、日付の見当識にも働きかけています。このように、ちょっとした患者さんのできることを発見し、実践してもらうことで、本人のやりがいにつながっていると感じています。一度に多くの患者さんに関わることは困難ですが、今後も患者さん1人1人とゆっくり丁寧に、その人らしさを引き出せるように関わっていきたいと思っています。

2016年10月から認知症ケア加算1の取得にむけ、認知症ケアチームを立ち上げました。チーム構成員は、神経内科医師、MSW、認知症看護認定看護師、看護師長、各病棟のリンクナースの計6名で活動をしています。週1回ケアチームで病棟ラウンドを行なっています。認知症患者さんが入院によって不安、不眠、徘徊、興奮など、認知症の行動・心理症状（BPSD）を悪化させないためにはどのように対応していくことが良いのかをチームや病棟のスタッフと話し合い、認知症患者さんが安心、安全に入院生活をすごせるよう関わっています。

認知症ケアチームのラウンドを行うにつれ、それぞれの職種の大切さを実感するようになりました。神経内科医師は、疾患を見据えての助言や内服の調整、主治医との調整を行っています。認定看護師として、この内服の調整やこの対応で問題ないかを根拠づけてくれる存在であり、とても重要だと実感しています。MSWは入院直後から退院を見据えて患者と関わっています。今の状態で以前の場所への退院は可能なのか、サービスは調整が必要なのか、患者の状況に合わせた退院支援をどのようにしていくのかの情報を共有できます。MSWはケアマネージャーや施設、病院との連携

を行っているため、院外のスタッフと患者をつなぐ役割がありその重要性に気付くことができました。リンクナースは病棟の認知症患者さんに一番近い存在であり、リンクナースからの情報や工夫している点を知ること、患者さんへの関わり方のヒントを得ることが多々あります。そして、日々の認知症患者さんへの関わり方の苦悩を知り、少しでも認知症患者さんやスタッフが良好な関係を築き、認知症患者さんが安心して療養生活が過ごせるよう、ケアチームとして助言し、早期に対応ができればよいと思っています、そして、それは今後の課題でもあります。現在は認知症ケアチームの人数も職種も少ないですが、今後は薬剤師やリハビリ、栄養士など様々な職種と関わりができれば、より専門性を活かして認知症患者さんへの対応ができるのではないかと考えています。

認知症ケアチームの関わりの中で、認知症患者さんへの身体拘束は大きな課題となっています。患者さんの安全を優先するためには身体拘束がやむを得ない場合もあると思います。しかし、身体拘束は認知症患者さんへの苦痛を増強させ、BPSDを引き起こす可能性も十分にあり、本当に必要な身体拘束なのかを十分にアセスメントし、早期に身体拘束の解除ができるよう今後も関わっていく必要があると思っています。



窓の外の景色を眺め、春は桜、夏は青葉がきれいであることを話しています。カーテンをあげることで一日の流れが分かるようにしています。

また、年に2回認知症ケアチームによる認知症についての研修会を開催しています。全職員対象で、医師やリハビリスタッフ、療養介助専門員など他職種の職員に参加していただいています。さらに、御坊・日高地域のケアマネージャーや看護師などの院外の医療関係者にも参加していただいています。新オレンジプランでは、認知症の人にとって住み慣れた地域の良い環境でその人らしく過ごせるよう

に関わっていくことが大切であると言われています。この研修を通じて、認知症患者さんに関わる地域の関係者が、認知症の患者さんへの対応力が向上することで、認知症患者さんが住みやすい地域となる一助となるよう今後も続けていきたいと思っています。

私は、認知症看護認定看護師としての経験も少なく、まだまだ知らないことやできていないところがあると思います。認知症患者さんやその家族と関わる事や多職種とのかかわりの中から、認知症患者さんがその人らしく過ごせるよう今後も頑張っていきたいと思っています。また、認定看護師として、認知症看護のケアの質が向上するよう、スタッフへの指導や教育を行っていくことが求められ、今後の課題でもあると考えています。当院に入院した認知症患者さんが、この病院なら安心出来ると感じられるよう、今後も関わっていきたいと思っています。

ある日、急に自分が自分でないような感じになった。説明することもできず非常に心細かった。

Point!

「本人が自分自身の異変に気付いた時の葛藤や不安がある」ということを私たちは理解しておく必要があると思います。

トイレの失敗に対して“こんなところ”と思うのではなく、“そう来たか”と思えば次の対応を考えられる。

Point!

排せ行動にできないところがあっても、自分で対処しようとする行動をとっています。その行動を「異常」ととらえるのではなく「行動の意味」を探ることが大切です。

— 認知症の語り —
より

“どうして自分がアルツハイマーになったのか”そればかりを考えていたが“私は私だ”とようやくわかった。

Point!

認知症の人だから・・・と「認知症」というラベルを貼らず、「その人自身」に着目し関わっていくことが大切です。

怒らない、ダメと言わない、押し付けない
— ダメ3原則は“あなたを受け入れている”と態度で表すことだと思う。

Point!

関わりの中で「あなたを受け入れています」と感じてもらえるように心がけたいです。

医療安全

数珠つなぎ

貴志川 リハビリテーション病院

リスクマネジメント委員会委員長

小山 真州美



今年度、当院リスクマネジメント委員会では、患者様の安全・安楽確保について検討しました。それにより、看護部から各委員会と協働する「リンクナース委員会」の発足がありました。それは毎週、災害・物品・接遇委員会等と各部署や病棟をラウンドし、スタッフの「気

づき」の感性と、行動が改善意識を高める等のねらいがありました。毎週、院内の何処かで、誰かが見守っている事が、患者様の安心に繋がっています。

次回号に紹介させていただく方は
医療法人宮本会 紀の川病院 看護部長 樺山 勝様です

訪問看護ステーションだより

訪問看護ステーションとみた 前島 亜矢子

平成 17 年 4 月 1 日に開設。

現在看護師 15 名、事務員 1 名で活動しています。

富田病院を主体とし、居宅支援事業所、ヘルパーステーション、有料老人ホームを併設しており、24 時間対応体制を整え、在宅チームとして利用者様をサポートしています。

また、地域医療を展開している開業医の先生方と密に連携を図り活動しています。色々な疾患を抱えた方をはじめ、難病、がん末期や終末期の方に多く関わっています。

在宅療養を長く継続できるよう、利用者様の生活スタイルに沿ったケア、細やかなケアを提供できるよう、体制を整えています。幅広い年齢層の利用者様に対応できるよう、スタッフ間で細かな情報交換やカンファレンス、勉強会を行い、質の向上を目指しています。

「笑顔と愛情を持って接する看護」「その人らしい生き方、生活を援助する看護」「利用者様、ご家族様から信頼される看護」をモットーにチーム一丸となって取り組んでいます。

最近の取り組みとしては、開業医の先生方とラインを通じ、指示受けを行い、タイムリーに対応できるように備えています。



リレーエッセイ

友達の

輪

Vol.57 月山チャイルドケアクリニック

長尾 真理



新しい職場で働き始めて一年が過ぎました。初めはシステムやルールの違いに戸惑い、周りのスタッフに迷惑ばかりかけていましたが、上司や先輩スタッフ、他部門のスタッフ、そして患者さんの笑顔に支えられ助けて頂きながら病棟と外来で頑張っています。

今後は今までの経験や新たに習得した事を生かし、他部門同士が連携して「継続した看護」「細かい所に手が届く看護」が提供できるように病棟と外来の架け橋となって頑張ります！

今回は、和歌山県立医科大学
附属病院 吉田 純子さん
をご紹介します。

男の豪快料理

第6回 丸ごとキャベツ煮込み

和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院 阿武 健

材料

キャベツ1玉、豚コマ切れ 800g、塩ちゃんこ鍋スープ(既製品) 750ml
冷蔵庫にある野菜たち(しめじ、人参、玉ねぎ等)

作り方

1. 適当に細かく切った野菜を鍋に入れる。
2. キャベツの芯をくり抜き、原型をとどめる程度に八つ裂き。
3. 豚こまを詰め込み、鍋スープ750mlと水750ml入れる。
4. 沸騰するまで強火、そのあとは弱火で1時間煮込む。
5. 食べたい我慢が出来なくなった頃、食べごろ。



施設だより

和歌山生協病院



総師長 太田 智恵

当院は、1980年開設以来、健康診断から救急医療、リハビリ、在宅まで地域に密着した医療を行っています。地域密着型協力病院として、病棟は一般急性期（一部地域包括病床を含む）と回復期リハビリ病棟の149床です。

理念は「いつでも誰もが安心できるより良い医療と福祉を目指す」です。同法人には、訪問看護、診療所、介護分野ではディケア、認知症ディサービス、訪問介護、特養を併設し、医療・介護の総合的な活動を展開しています。医療・介護を取り巻く環境は厳しく、患者負担が増えていることから、治療の中断や病院にかかれぬ方が増えています。患者さんの受療権を守るため、個室差額ベッド料を頂かず、無料低額診療も行っています。

また、大きな特徴は医療福祉生協の組合員さんに支えられていることです。健康や暮らしについて一緒に学んでいます。健康チェック、サークル・ボランティア活動、地域ささえ合い事業（配食サービス・昼食会等）も行っています。

看護部は地域を視野に入れた活動が求められ、地域の人々、組合員さん、他の医療福祉機関と一緒にシームレスなケアの提供が必要です。大切にしているものは、かけがえのない「いのち」「くらし」を守り、寄り添う看護です。強みとしては、人の繋がりを大切に

するネットワークがあります。病院から退院前・後訪問看護も初めており、今後も取り組んでいきます。また、病院、診療所、訪問看護ステーション、介護事業など幅広い事業で看護師は活躍し、多様な経験を積むことが出来ます。

教育については、継続教育の充実、研修保障、認定看護師資格取得支援なども行っています。現在、皮膚・排泄認定看護師、慢性呼吸器認定看護師が活動し、質向上に努めています。さらに、認知症認定看護師教育課程を1名受講中です。医師・看護師をはじめ全職力を合わせて地域の方々に信頼される病院を目指して頑張りたいと思います。



和歌山県看護協会の動き

平成29年度第2回理事会

I. 協議事項

1. 平成28年度決算報告について
2. その他

以上 承認

開催日時：平成29年5月25日（木）13:00～14:00
場所：看護研修センター 会議室1

II. 報告事項

1. 日本看護協会理事会報告について
2. 県内関連団体会議参加報告について
3. 会員数について
4. その他

平成29年度第3回理事会

I. 協議事項

1. 役員の選任について
2. 円滑な事業運営について
（理事会などの年間計画について）
3. ナース章について
4. その他

以上 承認

開催日時：平成29年6月21日（水）13:00～15:00
場所：看護研修センター 会議室1

II. 報告事項

1. 平成29年度事業計画について
2. 日本看護協会理事会報告
3. 県内関連団体会議参加報告
4. 会員数について
5. その他

受動喫煙防止対策の法制化に向けた署名について、4,710名の方からご協力を頂き、日本看護協会へ送付いたしました。ありがとうございました。

ナースディフェスタ和歌山

5月6日(土) 開催

和歌山県看護協会で「看護の日」の記念事業が開催されて5年。今年度から「ナースディフェスタ和歌山」として開催しました。

午前は、保健師による乳がん自己検診、骨密度測定、白衣体験を実施しました。午後は神戸大学医学部附属病院乳腺外科科長 谷野 裕一先生に「知ることは新たな一歩となる～がん治療に向き合って～」と題してご講演いただきました。高校生の方、県民の皆様、医療職を対

象に、ご自身が医学を目指すきっかけになったこと、がんになっても元気に生活できるよう市民レベルの活動を立ち上げたこと、どのように人生に向きあっていくか、2人に1人が、がんに罹患するといわれる時代に新しい一歩となる内容でした。その後、海南高等学校吹奏楽部の皆さんによる「宝島」「君の名は。」コレクションの演奏会が開催されました。



新人看護職員オリエンテーションを開催 参加者 185名 常任理事 山本 喜久子

平成 29年 4月 13日 (木) 午後、新人看護職員 185名を看護研修センターにお迎えして開催しました。

看護職能団体である看護協会の役割(看護教育および学会等学術振興、看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康および福祉の増進等)をアピールしました。

「先輩たちの経験から学ぶ いきいきと働くために」と題して、村井 春菜氏、濱野 里香氏、広尾 香苗氏(橋本市民病院)から、1年目、2年目、3年目、4年目の経験と学びをお話いただきました。

新人看護職員同士の交流会では、グループで「困っていること」等、自由に話し合っていました。

参加者からは、「先輩の話で、『新人はわからないことが

あたりまえ』という言葉に元気づけられました」「いろいろな病院の方と話ができて困っていることなども知れて貴重な意見交換ができました」などの感想がありました。



東洋羽毛の 無料!! コーヒーサービス

東洋羽毛では、お世話になっている方々に無料コーヒーサービスを行っております。院内での師長会議・主任会議・ラダー研修会・研究発表会・勉強会等、地域や支部での看護部長会・看護研修会等での休憩時にホッと一息つきませんか?

どんな所でも無料で出張サービスさせていただきます



0120-88-2104



「片隅にちょっとだけ、企業PRとしてお布団を置かせて頂いております。ご購入にも応じます。」

東洋羽毛関西販売株式会社

お気軽に御利用ください。

「世界禁煙デーフォーラム in 和歌山」に参加して

社会経済福祉委員会 嶋津 寛

私は、今回5月27日に『日本のたばこを知る・考える・変える』をテーマにした県民文化会館で開催されたフォーラムに参加した。

たばこ問題を考える市民の会の佐本明氏より、県の創立30周年の軌跡と題し喫煙活動の歴史について報告があった。また、和歌山工業高等学校教師の奥田恭久先生から未成年者の禁煙防止に関する教育的取り組みが紹介された。

その後、参議院議員（みんなの党）の松沢成文氏の講演があった。松沢氏は、神奈川県知事時代に、パチンコ業界や居酒屋などから猛烈な反対を受けながらも受動喫煙防止条例制定に取り組んだ実績がある。実現に向けて自らの信念は、「努力義務は駄目、抑止力・守

らせるための罰則があることが重要」である、と話された。参議院議員の立場で国政として今後は、全国で取り組むルール作りや2020年オリンピックに向けて健康的な都市環境を作っていくと述べていた。

喫煙者である私が、社会経済福祉委員会のメンバーとなり今回のフォーラムに参加する機会を得た。禁煙活動において細かい活動が行なわれていることを初めて知った。喫煙が及ぼす影響についての知識は深まったが、直ぐに行動に移すという気持ちには至らなかった。しかし、喫煙が周囲に与える影響力の強さを感じ、禁煙活動や情報の発信には前向きに行動していきたいと思った。今後、委員会のメンバーとして、禁煙推進活動に取り組んでいきたい。

「皆さん、禁煙しませんか！」

社会経済福祉委員 藤原 昌子

平成29年6月25日、第217回全国禁煙アドバイザー育成講習会に参加した。禁煙支援基礎コースでは、日本赤十字社和歌山医療センター呼吸器内科の池上達義先生による「職場の禁煙推進のための基礎知識」について講演があった。タバコの有害性・有毒性、癌やCOPDなどの疾患との関連性、受動喫煙の危険性については、医療従事者であれば誰もが知っている内容である。しかし、実際は喫煙をしている医療従事者は多い。

近年、受動喫煙や副流煙だけでなく「サードハンドスモーク」という三次喫煙がもたらす健康被害も大きな問題となっている。サードハンドスモークとは、煙草を消した後の残留物から有害物質を吸引することを言い、喫煙者の手や髪、衣類、壁・ソファなどに付着した有害物質が汚染源となる。

講習会では、京都大学医学部の高橋裕子先生が「**タバコを吸った後の喫煙者の呼吸からは約45分間もの間、有害物質を吐き出している**」と聞き衝撃を受けた。タバコの煙を遮る分煙スペースを作ることでも受動喫煙に注意することができても、喫煙者と接することで第三者がタバコの有害物質に暴露されている状況である。休憩中に吸ったタバコの影響がその後接する患者や

同僚にどれだけの健康被害をもたらしているか、ということをも十分理解しておく必要がある。

また、講習会で、喫煙者のインシデント（**ヒヤリハット**）発生率が**非喫煙者よりも高い**と話していた。喫煙者の多くは、ストレスを喫煙することで解消している。しかし、業務中に喫煙できるような職場は非常に少ない。喫煙できない状況でストレスを感じた場合、速やかに解消することが出来ず、注意力散漫になることが原因であると話していた。

今回の講習会に参加し禁煙の必要性を再認識することが出来ただけでなく、禁煙外来の実際・具体的な支援の方法も学ぶことが出来た。講習会の午後からは「初級禁煙支援士」の筆記試験にもチャレンジし合格することも出来た。今後講習会で学んだ事を勤務先へ持ち帰り、禁煙の必要性について職員へ話しをしていく予定である。

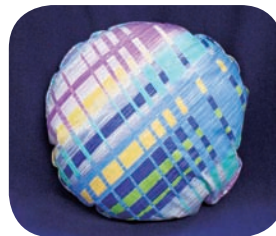
最後にもう一度

**「喫煙者の皆さん、
禁煙しませんか！」**



第27回

プレゼント!



はがきに ①希望の商品名 ②氏名 ③会員番号 ④郵便番号・住所 ⑤電話番号 ⑥勤務先名 ⑦本紙へのご意見・ご要望を明記の上、9月25日(月)までにお送りください。
(消印有効・1人1通のみ)

抽選の上、当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。

宛先 〒642-0017 海南市南赤坂17 和歌山県看護協会 「8月号プレゼント」係

「足まくら」
を
2名様に!

どちらか1つ
当たります!

「図書券」
1,000円分を
3名様に!

プレゼント
応募者の
声

- 訪問看護ステーションなど、「病院以外で活躍する看護師の特集」をして欲しいです。
- 黒潮も138号なんですね。それぞれのコーナーを担当されている方、大変なのはよくわかります。これからもずっと続けて下さい。

平成 29 年度 役員・各委員及び地区支部長名簿

★印は委員長

役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名	
役 員		看護師職能委員Ⅱ		特別委員		
会 長	古 川 紀 子		井 上 加 恵	「まちの保健室」運営委員	★橋 爪 千 晶	
副会長	東 直 子		中 野 美 枝		野 上 千 晶	
副会長	塩 路 有 理		平 岡 桃 重		後 藤 智 子	
専務理事	小 泉 美 穂		柏 谷 恵 子		福 壽 和 美 子	
常任理事	山 本 喜 久 子		矢 出 装 子		丹 田 令 子	
理事 書記長	山 本 美 代	常任委員			ナースセンター推進委員	★高 垣 通 代 子
保健師職能委員長	小 川 政 予	社会経済福祉委員	★上 本 孝 子			上 田 陽 子
助産師職能委員長	慈 幸 奈 美		塩 路 子			櫻 根 桂 子
看護師職能委員長Ⅰ	稲 垣 伊 津 穂		村 上 き み よ			芝 崎 千 鶴
看護師職能委員長Ⅱ	東 る み 子		嶋 津 覚			野 村 眞 佐 子
伊都地区支部長	西 山 登 志 子		藤 原 昌 子	認 定 看 護 管 理 者		★岡 本 恭 子
那賀地区支部長	大 久 保 ま さ 子		★松 岡 淑 子	教育運営委員		高 岸 壽 美
和歌山地区支部長	廣 瀬 朱 実		大 浦 泰 代 之	西 原 均		西 原 均
海南・海草郡地区支部長	中 野 美 枝		須 崎 智 之	芝 瀧 ひ ろ み		西 山 登 志 子
有田地区支部長	西 原 均		井 上 明 美	西 山 登 志 子		林 千 冬
日高地区支部長	空 山 直 子		井 口 寿 美	認 定 看 護 師	★芝 田 里 花 子	
田辺地区支部長	山 根 八 栄 子	東 本 桂	フ ォ ロ ー ア ッ プ 委 員 会	高 野 裕 子		
新宮・串本地区支部長	貴 志 福 子	上 平 絹 代		早 田 修 平		
准看護師理事	玉 置 佳 代	日 下 部 聖 美		上 葛 順 子		
監事	温 越 純 子	服 部 園 美		西 川 滋 子		
//		日 浦 恵 子		栗 山 文 枝		
職 能 委 員		堀 紀 陽 美		そ の 他 委 員		
保健師職能委員	★小 川 政 予	田 口 眞 理 子	広報委員	ワーク・ライフ・バランス推進委員	★池 田 亜 矢 子	
	丹 下 百 花	山 本 咲 良 美			釜 坂 加 寿 恵	
	井 本 知 江 子	★市 野 浩 美 子			辻 あ さ み	
	玉 置 倫 子	和 田 聖 子			小 林 春 子	
	松 尾 真 由 美	宮 本 美 紀 子			西 山 登 志 子	
	中 井 光 代 紀	米 坂 知 子			西 澤 妙 美	
	坂 部 美 紀 子	藤 井 照 美 子			仲 澤 文 彦	
	貝 岐 晶 子	前 田 美 恵 子			上 田 直 子	
	助産師職能委員	★慈 幸 奈 美			★久 保 恵 美 子	東 松 香 世 美
	鳥 羽 紀 美 子	古 川 さ ゆ さ			古 川 北 ひ さ 季	小 西 広 子
片 山 祐 理	川 岡 亜 季	吉 岡 美 音	中 西 廣 子			
冲 婦 美 代	小 原 美 津 子	清 水 多 津 子	認 定 看 護 管 理 者 会	★高 岸 壽 美 也 子		
谷 前 弘 代	★茨 精 子	★茨 精 子	黒 田 知 恵 美 子	角 谷 知 恵 美 子		
和 所 直 美	鈴 木 孝 子	柳 岡 佐 智 子	池 本 義 子	池 本 義 子		
稲 葉 ひとみ	柳 岡 佐 智 子	山 田 恵 美 子	仲 澤 妙 美	仲 澤 妙 美		
松 本 直 子	山 田 恵 美 子	曾 和 倫 代	坂 本 辰 美	坂 本 辰 美		
看護師職能委員Ⅰ	★稲 垣 伊 津 穂	★久 保 乃 英 里	西 村 尚 美 子	杭 瀬 結 子		
榎 木 谷 久 美 子	榎 木 谷 久 美 子	児 玉 麻 里 美	神 戸 祥 子	神 戸 祥 子		
米 谷 江 里	米 谷 江 里	城 一 色 啓 恵 子	藤 若 由 紀 子	藤 若 由 紀 子		
榊 ひかり	榊 ひかり	宮 崎 清 恵 子	岡 崎 一 喜	岡 崎 一 喜		
森 裕 子	森 裕 子	山 口 昌 子	佐 藤 房 子	佐 藤 房 子		
玉 置 千 津 子	玉 置 千 津 子		玉 置 雅 祥	玉 置 雅 祥		
奈 良 園 子	奈 良 園 子					
加 藤 博 之	加 藤 博 之					
看護師職能委員Ⅱ	★東 る み 子					
佐 藤 房 子	佐 藤 房 子					

夏期休館のお知らせ

平成 29 年 8 月 14 日(月)～平成 29 年 8 月 16 日(水)